高収益栽培！特産物の育成で村おこし



↑収穫期の実サンショウ。

㉗ 実サンショウの収量と品質について

元・農業改良普及員
（サンショウ研究家）
内藤（ないとう）　一夫（かずお）



この連載では、中山間地でも、比較的手がかからず市場出荷においても競合が少ない品目の栽培を経営の参考に毎回解説していただきます。

本連載でも度々取り上げたサンショウは、消費者、生産者ともに近年人気が高まり、新規でサンショウ生産に取り組む方も増えています。サンショウは栽培技術を修得すれば所得率も高く、高収益が期待できます。そこでもう一度、実サンショウの収量と品質に焦点をあて、それらの構成要素を解説します。

収量を構成する要素と役割

実サンショウを栽培するうえで収量を構成する要素は**第1表**の通りです。最も重要なのは優秀な苗木の確保で、これは収量と品質に大きく影響することから、苗木は豊産性で高品質の品種と系統のものを選びます（**第2表**）。

次に、苗木の植え付けと栽培管理の適正化が挙げられます。中でも、整枝剪定を確実に行い、植え付け後約3年間で樹形の骨格を作り上げられるかがポイントとなります。植え付け後の肥培管理はサンショウの性質を十分理解したうえで実施しましょう（**第3表**）。適地の選定においては気象条件や地形などを考慮し、地下水位90㎝以下で排水良好な場所が適します（**第4表**）。

実サンショウの収穫適期は用途利用によって異なりますが、大別して、生果利用か乾果利用かに分けられます（**第5表**）。普通は開花後約1カ月で収穫期に入り、生果用は果粒の中の子房が乳白色の時に収穫します。収穫方法は手摘みのほか摘果爪を使用する場合があります。生果用、乾果用とも1日30～50kgの収穫が見込めますが、10a当たり2000kgを適期収穫するには最低でも40人が必要で、収穫労力の確保が課題となります。したがって、全国市町村自治体に設置されているシルバー人材センターの人材を効率的に利用することが得策と思われます。

また、生果を直接市場出荷するより、加工販売することで利益率は3～5倍になります。有利な販売・流通になるよう工夫します（**第6表**）。

品質を構成する要素

高品質な実サンショウは、芳香や色択、1房の粒数、食味のほか、果粒の大きさと硬軟などが関係してきます（**第7表**）。良質生産へ向けて栽培技術の向上を図りましょう。

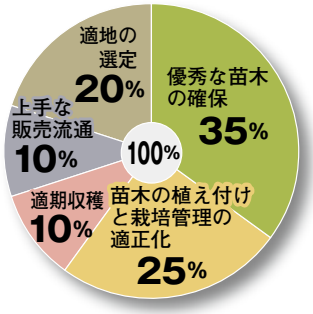


↑果粒は鮮緑色で、粒数が多いほどよい。



↑高品質な実サンショウ栽培の取り組みが行われている島根県雲南市木次町。

第１表　収量の構成要素とその役割



第２表　サンショウ（朝倉実サンショウ）の苗木良否が収量と品質に及ぼす影響について

（2012年3月、調査）

1房粒数	評価点	苗木の等級	1本当たり成木収量（kg）	10a当たり成木収量（kg）	1本当たり販売額（円）	10a当たり販売額（円）	10a当たり所得（円）	摘　要
150	11	特上	15	3,000	22,500	4,500,000	2,700,000	一般的には確保困難である
120	9	特	12	2,400	18,000	3,600,000	2,160,000	一般的には確保困難である
90	7	上	9	1,800	13,500	2,700,000	1,620,000	果樹苗木専門店で確保できる
60	5	中	6	1,200	9,000	1,800,000	1,080,000	果樹苗木専門店で確保できる
30	3	下	3	600	4,500	900,000	540,000	一般の苗木店で確保できる
計	35	－	－	－	－	－	－	－

※成木とは植え付け後７～８年を迎えたものをいう（１kg当たり単価1,500円として計算）。10ａ当たりの植え付け本数は250本植えとする。また成木の健全化率は80%として計算。１kgの平均単価は平成23年５～６月の京都市中央卸売市場の統計資料による。産地によって、また出荷時期によって価格差があるが５月中下旬ごろは2,000円前後の値を付ける。

第3表　苗木の植え付けと栽培管理の適正化

項　目	評価点	摘　要
鳥獣害の防止	3	防止柵の設置（ナイロン網）。外側にフユサンショウとラベンダーを5mごとに植え付ける。
苗木植え付け方法の適正化	5	直径１m、深さ50cmの穴を掘り、所定の粗大有機物とその他の肥料を施用し、１カ月後以降に植え付ける。
除草、敷わら、潅水	3	春、夏の干ばつ期には、敷わら潅水を適宜実施する。
施肥と土壌管理	3	所定の施肥設計に基づいて、施肥と土づくりを行い、また傾斜地などでは土壌浸食に注意する。
病害虫防除	3	サンショウの病害虫防除は登録農薬を使用して冬季防除に重点を置き所定農薬を使用する。
気象災害の防止	3	サンショウは遅霜や積雪害に弱いので、十分な対策をする。特に幼年期は弱いので注意すること。
整枝剪定の適正化	5	植え付け後、約３年間で樹形の骨格を作り上げる（盃状わい化仕立て、または開心自然形とする）。
計	25	

第4表　適地の選定

項　目	評価点	摘　要
気象条件	2	年平均気温14～15.5℃。最低気温９～11.5℃。最高気温30～35℃。年平均降雨量1,600～1,800mm。その他積雪量、積雪期間、初霜、遅霜、台風。
地形	2	平坦地、台地、傾斜地、日照期間。
土地の種類別	2	水田、畑、山麓、原野（畑と山麓がよい）。
土性別	2	花崗岩土壌が最適。砂質壌土またはれき質壌土。
地下水位	2	90cm以下であること。
肥沃度	2	腐植含量が多いこと。
前作物	2	茶、桑、甘藷（サツマイモ）が栽培されていなかった所がよい。
新しい土地か古い土地か	2	新開地か既成地か。新開地がよい。
農道や潅水施設の有無、電源の有無	2	農道や潅水施設の有無、電源の有無。
栽培圃場の近くに河川や池、湖の有無	2	河川の有無は霜害と関係ある（水蒸気）。
計	20	

第5表　実サンショウの利用方法

生果利用	一般料理用	－
	佃煮用	－
	貯蔵用	塩漬け、みりん漬け、酒漬け、焼酎漬け、冷凍貯蔵（ビニールパック詰）、ビン詰、缶詰
	漬物用	褐色～黒色果でよい。
乾果利用	香辛料	サンショウの粉、七味、カレー粉、ソース、和菓子
	漢方薬	健胃、利尿、駆虫、解毒（体内血液の調整、減塩作用、機能性薬品）
	香料	－

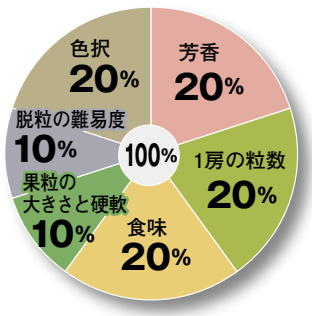
第６表　上手な販売・流通

生果の販売
都市の中央卸売市場（農協共選共同出荷）
都市の公設市場（生産グループ）
スーパー、観光地（生産グループ）
市町村の道の駅（生産グループ）
加工業者（生産グループ）

貯蔵・加工販売	
１次加工販売	市町村または農協の加工施設
２次加工販売	生産グループの加工施設を利用して、婦人グループなどで行う

乾果の販売（専門卸業者）	
香辛料	大阪卸専門業者、契約栽培
漢方薬	大阪卸専門業者、契約栽培

第７表　品質の構成要素とその役割



項　目	評価点	摘　要
色　択	20	鮮緑色で新鮮さを感じること。
芳　香	20	良好で、ハッカのような、さわやかな香りがすること（異臭がしないこと）。
１房の粒数	20	粒数が多いほど、豪華に見える。また収量も多い。
食　味	20	苦み、しぶみがなく、適当な辛みがあり、舌ざわりがよくおいしいこと。
果粒の大きさと硬軟	10	用途別に適当に肥大していること。過熟になっていないこと。
脱粒の難易度	10	野生種ほど、脱粒しにくい。
計	100	